

リスペクト

サッカーを楽しむために不可欠な要素として“リスペクト”の精神があります。

“リスペクト”とは、相手を大切に思う事、相手に思いやりを持つこと、
競技規則を守ること、審判員の判定を尊重すること。

下記文章は8人制サッカールールと審判法より抜粋

※現在のサッカー競技規則をベースとして、8人制(少人数)サッカーのルールを制定した。

※このルールに規定されていない事項については

・(公財)日本サッカー協会発行の(最新版)サッカー競技規則

・(公財)日本サッカー協会発行の(最新版)8人制サッカー競技規則

を準用する。

○ルールについて

◆第1条 競技のフィールド

①8人制サッカールールと審判法に準ずる。

②マークなどの長さ、ゴールの大きさは次のとおり。

・ペナルティーエリア:12m ・ペナルティーマーク:8m

・ペナルティーアーク、センターサークルの半径:7m

・ゴールエリア:4m ・ゴール:5m×2.15m(少年用ゴールを推奨する)

※ゴールは、競技者が負傷しない様安全に設置しなければならない。

③交代ゾーン(マーカー、ラインでも可)

自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6m(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)の交代ゾーンを設ける。

◆第2条 ボール:①少年用の4号球

◆第3条 競技者の数

①8人(内1人はゴールキーパー)とする。

試合開始前には8人いること

試合中、競技者の数が6名未満になった場合、試合不成立となり、該当チームの不戦敗とする。

②交代要員の数については、競技会規定で定める。

③交代の手続き

(1)交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールド外に出る。

(2)交代要員は交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

(3)交代は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

(4)交代について、主審、補助審判の承認を得る必要は無い。

④GKの交代の手続き

(1)アウトオブプレー時に主審に通知し、主審の承認を得て交代を行う。

(2)交代して退くGKは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。

(3)交代出場するGKはハーフウェーラインのところからフィールドに入る。

(4)フィールド上の競技者とGKの入れ替え

※アウトオブプレー時に主審に通知し、主審の承認を得て入れ替えを行う。

◆第4条 競技者の用具 ①変更なし

※基本的な用具(アンダーシャツ等について、4種委員会通達文を参照の事)

※補聴器の着用について(4種審判部通達文を参照の事)

◆第5条 主審

①主審1人制とする。

*グリーンカード制度が導入されている大会においては、主審は、グリーンカードを示すことができる。

◆第6条 副審

①配置しない

②試合には補助審判1名が指名される

※補助審判の任務

(1)主審によって要請された試合前、中、後の管理上の任務を援助する

(2)ホールの交換を管理する。

(3)交代の手続きが円滑に行なわれるよう、主審を援助する。

(4)チーム、競技者が試合中にフェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取っていたのを見た場合、主審に知らせ、主審がグリーンカードを示す援助をする。

(5)警告する競技者の特定を間違えて別の競技者が警告された場合や、2つ目の警告が与えられたにもかかわらずその競技者が退場させられない場合、又主審の見えていないところでの乱暴な行為が起きた場合には、主審に合図する。

(6)記録、主審負傷の場合交代可

(7)交代の管理

◆第7条 試合時間

①前、後半10～15分間を原則とする(年代によって変更可)

②延長の時間、競技規定により定める

③3ピリオド制とした場合、3ピリオド目の中間点で、両チームのエンドを替える。

④PK方式は、3人ずつ。

◆第8条 プレーの開始及び再開

①キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる。

◆第9条～第11条

①変更なし

◆第12条 ファウルと不正行為

①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する事が出来る。

◆第13条～第17条

①変更なし

ペナルティーマークからのキック時のゴールキーパーの服装について
(4種委員会通達文を参照の事)

